

長寿の研究

復刊序文

メチニコフの予言

原著者序

役者まえがき

第 章 老衰の研究

未開諸国における老人の取り扱い方, 文明諸国における老人虐殺, 老人の自殺, その他

老衰の原因の仮説, この原因は細胞の分裂能力の減退によると見ることは出来ない, 老年における毛髪、毛及び爪の成長, その他

高等な身体の要素破壊の際における巨大食細胞(マクロファージ)の役割, 筋繊維の老衰性退行変性, 骨の萎縮, 動脈壁の軟化機構と動脈硬化, その他

第 章 動物類の長寿

動物の身長と長寿との関係, 長寿と成長期間, 長寿と新生児の体重が二倍になる期間の関係, その他

下等動物の寿命, いそぎんちゃくその他の無脊椎動物の長寿の例, 昆虫の寿命, その他

消化器官と寿命との関係, 鳥類の盲腸, 哺乳類の大腸, その他

腸内フローラと寿命の関係, 齧歯類の場合, 馬・鳥類の腸内フローラ, その他

人間の寿命, 人間の正常の寿命に関するエプシュタインの説, 人類の寿命の例, その他

第 章 自然死の研究

植物界における自然死 - 単細胞生物不死の説, 非常に高齢に達した植物の例, 非常に短命な植物の例, その他

動物界における自然死 - 動物の自然死の種々なる原因, 激しい動作にともなう自然死の例, 消化器官を奪われた動物の自然死の例, その他

人類における自然死 - 老人の自然死, 自然死と睡眠との類似, 睡眠の諸説, その他

第 章 人間の生命の延長をくわだつべきか

人間の寿命の短さについての苦情, 人類の退行変性の原因としての「医学的淘汰」の学説, 人寿延長の有用性

延寿のため昔の人が用いた諸方法, 養老, 道教の不死の仙丹, その他

長寿の一法としての伝染病に対する処置, 黴毒に対する予防手段, 人体組織(オルガニズム)の高等な要素を強化する目的の下に血清を準備する試み

人間にとって大腸は無用である, 六ヶ月間大腸の作用が停止した婦人の例, 大腸の一番大きな部分が完全に除かれた例, その他

人間における腸内フローラの発生, 減菌食餌の無害, 腐敗した食物の危険, その他

第 章 人間の心理的未発育状態について

人間の起源が猿に類するものであるという事を否定する批判に対する回答, 実際に存在する未発育器官, 人間の感覚器官の構造の整復, その他

類人猿の心理的特質, その筋肉の力, 恐怖の表示, その他

ヒステリーの動機としての恐怖, 自然の夢中遊行, 二重人格, その他

第 章 動物社会史の諸点について

人類における種族の問題, 下等な生物群における個体性の消滅, 中間動物粘菌類及び腔腸動物くだけらげ, その他

昆虫の社会生活, 動物における個体保存の発達, ある種の昆虫の作業における分業及び個体性の犠牲
人間の社会, 人類の分化, 学識ある女性, その他

第 章 悲観論と楽観論

東洋における悲観論の源, 悲観論的詩扁, バイロン, その他

生命の悲観論の概念の合理性を尊重する傾向, この問題に関するエドワルド・フォン・ハルトマン氏の考え, コワレウスキイ氏の悲観論の心理学的分析
悲観論と健康状態との関係, 若い時代に悲観論者であり老年にいたって楽家になった学者の話, 老シヨーパーンハウエルの悲観論, その他

第 章 ゲエテとファウスト

若きゲエテ, 若きゲエテの悲観論, ウェルテル, その他

ゲエテの楽天時代, この時代のゲエテの生活様式, 芸術的創造における恋愛の役割, その他

ゲエテの老年, 老人の肉体的及び知的な遅しさ, 生命に対する楽天家の抱懐, その他

ファウストはゲエテの自伝である, ファウスト第一部の三つのモノロオグ, ファウストのペシミズム, その他

ファウストの第二部は老年期恋愛を内容とするものである，老人の愛欲，老人ファウストの謙譲な態度，その他

の遅々とした発達，その他
人間性は理想によって変えられるべきである，植物と動物の性質の変化の比較，シュランシュテットの裸麦，その他

第 X章 科学と道德

道德の問題のむずかしさ，生体解剖者と生体解剖反対者，合理的道德の可能性に関する研究，その他
人間性の法則を道德の基礎とする試み，カントの道德的義務の理論，カント哲学の理論の批判，その他
個人の道德，同条件で育てられたが、行為は全然異なっていたという二人の兄弟について，生命の知覚

主要人命訳註

小引

索引

訳者あとがき

メチニコフと父の奮闘日記 平野 レミ

後記 財団法人日本ビフィズス菌センター